

WISH

2024年3月1日

発行:飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <https://iinan.ed.jp>



共感のチャンネル



校長 岡 秀樹

以前、ある学校の文化祭を見に行った時のことです。生徒の頑張る姿に心打たれた先生が「いやー、涙が出ましたよ。年を取ると涙腺が緩くなって…」

と照れくさそうに言っておられるのを耳にしました。

さて、「年を取ると涙腺が緩む」というのは本当なのでしょう。また、仮にそうだと、それはマイナスなものとしてとらえることなのでしょう。

まず、前者に関して言えば、年を重ねることで筋力が低下して身体に緩みが生じることはあるものの、涙腺自体が「緩む」ということはないようです。むしろ、涙に関して言えば、加齢とともに分泌される涙が少なくなるのでドライアイに注意すべき、とされています。考えてみれば、涙腺が緩くなったことを理由として、それを調節してもらうために眼科に行く人の話は聞いたことはありません。

とすれば、涙もろくなるというのは、生理的な部分よりもメンタル・情動の部分に起因するものといえそうです。そもそも私がこのテーマで文章を書いてみようと思ったのも、自分自身に思い当たることが多々あるからです。特にこの心の動きを感じるのは、部活動です。若い頃には勝敗や結果という側面ばかりに目を奪われていたものが、いつの間にか生徒の姿の中に、そこに至るま

での努力・情熱・挫折といった背景のストーリーを重ね合わせるようになり「人間ドラマ」として見る傾向が強くなってきているように思うのです。

これは、教員としての勤務経験を積んでいく中で、さまざまな人と出会い、さまざまな立場があるのを見てきたことに加え、自分自身が人の親となり子どもの成長を身近な部分で見守る立場を経験したことも大きいように思います。ひたむきに取り組む生徒の姿を見るとき、あるいはベンチから声を枯らして応援する生徒の姿を見るときなど、ふと保護者の視点で家庭からの懸命なサポートの姿を思い描いてしまう…こうした心の動きこそが涙腺が緩んでしまう要因なのではないかと思います。

つまり、年を重ねるにつれて「共感のチャンネル」が増えていくがゆえに、さまざまな部分に込められた人の思いを感じ取り、思わず心が熱くなってしまふ、というわけです。これは、人間としての経験の引き出しの多さの証なのですから、老化現象や退化などではなく、ましてやマイナスとしてとらえることではない、というのがこの拙文の結論です。

3月になり、学校は卒業という大きな節目のシーズンを迎えます。涙腺の緩みを気にしつつも、共感のチャンネルを開きながら、巣立っていく生徒の姿を見守りたいと思っています。

(以前「月根尾寮だより」に寄せた原稿を元に加筆・修正したものです)

特集

卒業生から家族への一言メッセージ

3-1 生徒より 家族の方へメッセージ

ママとパパぼちぼち
大好きだよ♡

いつもありがとう！
大好きだよ～

毎日送迎してくれて
ありがとう♡

有名になって
自慢の長男になるから



総体おまもり



総体壮行式



球技大会バレー

新しい家に遊びに来てもいいよ

ありがとう

これからも旅行いっぱい行こー

ずっと
支えてくれて
ありがとう！

ありがとう両親



総体バレーボール部



総体ハンドボール部

父・母
困った時いつも相談に
のってくれてありがとう。

お母さん
寮まで送り迎え
ありがとー！！

いつも美味しい弁当
ありがとう！

「親孝行」家電送るから
期待しといてね！

今までありがとう

18年間迷惑ばかりかけて
すみませんでした。

何かあった時、
いつも味方でいてくれて
ありがとう！

育ててくれて
ありがとう。



全校生徒

毎日弁当
作ってくれて
ありがとう。

わがママをたくさん
きいてくれてありがとう。
これから親孝行できるよう
がんばるね。

18年間お世話お疲れ様でした！！

世界一のおもしろファミリー
毎日楽しかったー！！



毎日お弁当を
作ってくれて
ありがとう！



今までありがとう

たくさん心配かけてごめんね。
これから頑張って
一人前になるからね。

これから
親孝行します！！

お母さんの
ごはん世界一

いつもいつもお世話を
してくれてありがとう！
これから少しずつ
親孝行していくね！

毎日ありがとう



合唱(3-1)

今までありがとう

いつも
ありがとう



課題研究

いつも
ありがとう



ロードレース(入賞者)

これからもずっと
大好きだよー！

毎日お弁当
作ってくれて
ありがとう！

これから親孝行
待っててください！！

お父さんお母さん
いつもありがとう

ちょ～好き！！

うるさくしてごめんね
支えてくれてありがとう

3-2生徒より 家族の方へメッセージ

いつも
ありがとう

いっぱい支えてくれて
ありがとう😊

毎日お弁当
ありがとう!!
元気の源でした^ ^

また餃子作らせてね、
いつもありがとう



夏の大会 野球部



飯南 Life 本当に
楽しかった。

我が家の飯が
最高じゃ〜

あと4年世話に
なるぜ…多分

いつも
ありがとう♡

お父さん、
毎日お弁当
ありがとう

いつも
ありがとう



実家の安心感ハンパない。

これからも心配かけ
させてもらいます!

毎日朝早くからお弁当を
作ってくれてありがとう!

いつもおいしいお弁当
ありがとう!

いつも
ありがとう

好きなことを
させてくれて
ありがとう!!

いつも
ありがとう

3年間お弁当
ありがとう



前期生徒会執行部



鵬雲祭 茶道同好会

自由にさせてくれて
ありがとう

いっぱいケンカしたけど
ずっと支えてくれてありがとう

いつもありがとう。
これから大学でがんばるね



合唱(3-2)



いつも
ありがとう!

どんなときも
味方でいてくれて
ありがとう

弁当が本当に
おいしかった

特大おにぎり
ありがとう

飯南来てよかった



3年 バースデー講座



ロードレース(入賞者)

感謝

これからもよろしくお願ひします!
いつか恩返しせねば(使命感)

いつも
ありがとう



献血

学校行事



1年 地域を知る



2-2 島根大学の学生との交流会



2年 課題研究



総体壮行式



1年 中山間体験学習



研修旅行 (2-1)



研修旅行 (2-2)



2年 中山間体験学習



ロードレース



2年生 研修旅行



鵬雲祭 書道同好会揮毫



鵬雲祭



合唱 (2-2)



球技大会卓球



美術クラブ



鵬雲祭 神楽愛好会



PTA 模擬店



鵬雲祭エンディング



1・2年 球技大会



図書委員会企画



1・2年 飯南ジョブフェア



生命地域ラボ

▶▶▶▶▶ 本年度の主なPTA事業 ◀◀◀◀◀

- 4月19日(水) 第1回PTA評議委員会・合同委員会
- 7月6日(木) 第2回PTA評議委員会・企画委員会
- 8月31日(木) 鵬雲祭(PTA模擬店)
- 12月13日(水) 第1回役員選考委員会・PTA広報委員会
- 2月13日(火) 第3回PTA評議委員会



PTA 会長より

PTA 会長 伊藤 慶

1月1日に起きた能登半島地震は最大震度7を観測し、多くの死傷者が出ました。亡くなられた方へ哀悼の意を表しますとともに、怪我や被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

諸活動において制限があった3年間でしたが、今年は久しぶりに例年通りの活動が戻り、鵬雲祭も概ねコロナ禍前と同じように行うことができました。生徒たちの活動の様子を見てみると、鵬雲祭という最大の学校行事に向かって一生懸命に取り組み、そして非日常の中で熱く燃えながらも、心のどこかに冷静さを持っているように感じました。相反する気持ちをコントロールできているところに子どもたちの成長を感じ「完成された大人」に着実に近づいていることを強く思った次第です。

さて、世の中は常に変化しているわけですが、近未来は「無常」というレベルではなく、気候変動や科学

技術の驚異的な進歩等、想像も出来なかったことが起きる社会になっていくと考えられています。

変化への対応には精神の柔軟性が必要です。しかしながら私自身を顧みますと、大人になるにつれて気持ちのコントロールは若干できるようになったと思いますが、積極性が減退するなど、心が柔軟性を失いつつあるように思うときがあります。しかし大変化の時代を生きるにはそれではいけないと気づきました。既に大人になってしまっている自分も、今一度「心の柔軟性」を取り戻し、様々な変化を受け入れられるようになりたいと思います。

社会の変化は今後さらに加速していくわけですが、変化についていけないと嘆くより、私も含め、生徒の皆さんには新しいことに積極的に取り組み、自分自身の変化を楽しむくらいの余裕を持って欲しいと思います。人生を楽しみましょう！

[編集後記]

今年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類となり、徐々に制限が解除され、流動的な1年となりました。

今回は3年生を中心とした一番の思い出でもある、鵬雲祭・部活動など子どもたちの笑顔や真剣な表情、充実した高校生活を保護者の皆様に見ていただきたいと思い、飯南高校PTA広報誌「WISH」を刊行させていただきました。

ご支援・ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今後も一人ひとりが輝く飯南高校となるように、ご支援お願い申し上げます。

編集：PTA 広報委員会